

HTML の基礎学習(3)

リンクの設定 1(リンクの種類)

リンクとは、ページ内の文字列や画像から、ページ内の特定部分又は他のページを表示するための仕組みです。

リンクの種類には次の様なものがあります。

- ページ間のリンク
- ページ内の特定部分へのリンク
- ページ内の特定位置へのリンク
- 電子メールアドレスへのリンク
- 他のホームページへのリンク

リンクの設定 2(ページ間のリンク)

リンクの設定には<a href>を使います。ページ間のリンクを設定するには

1. 予めリンクするページのアドレスを記録します。
2. トップページのリンク元に次の様に入力します。

文字列

(例示) <ahref=“England.html”>海外編 イギリス

リンクの設定 3(ページ内の特定部分へのリンク)

長いレイアウトのページを作成した場合、同じページの特定部分が早く表示出来るようにリンクを設定する方法です。

タグの書き方は次の様になります。文字列 文字列

(例示) ロンドン編

ロンドン編

ページ内の特定位置へのリンク設定もこれとほぼ同じです。

リンクの設定 4(ホームページ)

他のホームページURLにリンク設定。 i/

リンクの設定 5(リンクを示す文字色)

リンクを示す種類としては[link 未読][vlink 既読][alink クリック時]があります。

色を設定するには次の様に書きます。<body link=“#色” vlink=“#色” alink=“#色”>

このタグは特に覚える必要はありません。

表(Table)の概要

表は[罫線]と、[内容]で構成されています。表は下の三種類のタグから構成されています。

[表を作る]タグ <TABLE>~</TABLE>

[行を作る]タグ <TR>~</TR> T R は Table Row(行の意味)

[区切りを作る]タグ <TD>~</TD> T D は Table Data(データの意味)

(註) ホームページビルダーでの表の作成にはタグの書き込みは必要ありません。

表の[罫線]を表示しない場合は、<border> を書き込まない。

表の作成 1(表の大きさの指定)

表の横幅を指定するには<width>を使います。

表の高さを指定するには<height>を使いますが、表全体の高さを指定すると、行を増やした場合などに変動するので別途の指定となります。

表の作成 2(表の位置の指定)

表の位置を指定するには<align>を使います。

表の位置も画像の場合と同じく<align>の指定で<left><center><right>の指定が出来ます。

左側に指定する<table align="left">

中央に指定する<table align="center">

右側に指定する<table align="right">

表の作成 3(表の見出し・タイトル)

表の見出しには<th></th>を使います。<th>日程</th><th>スケジュール</th>

表のタイトルには<caption></caption>を使います。

<caption>京都旅行のスケジュール</caption>

表の作成 4(セルに関する事項)


[セル]の高さ、縦の結合、横の結合、余白などの設定を行います。

高さを指定するには<td height></td>

縦の結合には[rowspan]を使います。下の例示は、[1 日目]の 2 段を 1 段に結合したものです。

<td rowspan="2">1 日目</td>となります。

日程	スケジュール
1 日目	午前
	午後




日程	スケジュール
1 日目	午前
1 日目	午後

横の結合には[colspan]を使います。

下の例示は、日程とスケジュールを結合したものです。<tr colspan="2">日程</tr>

日程	スケジュール



日 程	

余白の設定には<table cellpadding></table>

背景色を設定するには<td bgcolor="色"></td>を使います。

表の作成 5(枠の設定)

表の外枠の太さを指定するには[border]を使います。

表示は<table border=" " ></table>で、 " "には数字をいれます。数字を入れない場合はピクセル[1]で表示されます。表示しない場合は[0]と書き込みます。

外枠の色は通常上と下で色が違います。

(上・左)<bordercolorlight>

(下・右)<bordercolordark> を使います。

[表]は、レイアウトを作成する基本です。これまで説明した機能は、ホームページビルダーがすべて行ってくれますが、何かの不都合やエラーが出たときには、タグを覚えて[ソース]を見ることで簡単に治す事が出来ます。主要なタグだけでも覚えておくと便利です。